

国富町まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）の概要

■地方創生（まち・ひと・しごと創生）とは

日本の人口は、2008年（H20年）をピークに急速に減少しています。

一方、本町の人口は、それよりも早く、2000年（H12年）をピークに減少に転じています。

日本の人口減少の大きな要因は、出生数の減少ですが、本町を含む地方の人口減少は、これに加えて、町外・県外への人口の流出が大きな要因となっております。

特に、労働者となる若者、働き盛りの壮年の方々の流出が多くみられます。

人口減少は、消費や経済力の低下を招き、今後の経済社会や一人ひとりの生活に大きな影響を及ぼします。

こうしたことから、人口減少と経済縮小の流れを転じるため、将来にわたり、活力ある社会を維持することに取り組んでいく必要があります。

そこで、2060年（45年後）を目指した長期人口ビジョンと人口減少に歯止めをかけるための総合戦略を掲げ推進していくものであります。

人口ビジョン

1 人口の現状・分析

本町の人口は、現在の人口動態が現状のまま続いた場合、45年後の2060年には、人口が1万人を割り、761人まで減少することが予測されています。

その際、人口が減少することで町全体としての活力を維持することは難しくなることから、人口減少の歯止めについての対応が求められます。

※1 自然動態 過去3年間の平均では死亡が多く、▲144人の減少
本町の合計特殊出生率は1.48で、県内で一番低い

※2 社会動態 過去3年間の平均では転出が多く、▲108人の減少

2 将来の人口推計

本町の過去3か年平均の人口減少は年間▲252人であることから、人口減少に歯止めをかけるため、合計特殊出生率を5年毎に、平均して0.05ポイントずつ上げ、人口流出抑制率を30%とすることで、2060年の人口推計を10,305人とします。

	2010年	2020年	2030年	2040年	2050年	2060年
○国（日本創生会議）						8,761人
○宮崎県						11,338人
○国富町	20,904人	19,057人	16,966人	14,700人	12,330人	10,305人

3 目指すべき将来の方向

人口現状分析の結果を踏まえ、本町では次の3つの基本的な視点から総合戦略を策定し、具体的な取り組みを行なっていきます。

- (1) 若い世代が地域で安心して働き、希望通りの結婚・出産・子育てをすることができる社会経済環境の実現
- (2) 国富町への移住・定住の促進
- (3) 町民が心豊に生活できるような生活サービス支援の推進

総合戦略

1 基本方針

- (1) 基本的な考え方

本町の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、「第5次国富町総合計画」を基本とし、重要な政策の基本方針として、

「安心・安全な暮らしを実現し、町民みんなが元気なまち」
～「ひと」に優しく、「笑顔」と「癒し」のある「豊かな地域社会」の実現を目指して～

をキャッチフレーズに、基本目標と重点項目を設定し、中長期的な視点から施策の基本的な方向を示していきます。

- (2) 計画期間

平成27年度から31年度までの5か年とします。（2060年までの45年を9期に分けた第1期計画）

- (3) 総合戦略のフォローアップ

総合戦略の進捗管理等における評価・検証はもとより、国のシステムの活用や広域連携による情報や分析を加えるなど、随時必要な見直しを行なっていきます。

2 基本目標及び重点項目

基本目標（4）	重点項目（7）	主要施策（37）
(1) 良好な生活機能の確保………	①子育て支援の充実………	5
	②医療福祉の充実………	3
	③居住環境の充実………	6
(2) 良好な就業環境の確保………	④人材の育成………	3
	⑤雇用の場の創出………	11
(3) 魅力ある価値の創出………	⑥ブランド力の拡大………	5
(4) 社会基盤の確保	⑦公共交通網・インフラ等の維持・整備……	4

3 施策に関する基本的方向

4つの基本目標にそれぞれ重点項目（7）を設定し、項目ごとに今後の「あるべき姿」を掲げ、「あるべき姿」に到達するまでの主要施策（37）の方向性を示します。

さらに、重点項目ごとの目標値の設定及び主要施策に伴う事業を位置づけ、各事業の推進においては、年度ごとに検討し充実・拡大させていきます。